

平成 30 年 4 月入学

大 学 院

生物システム応用科学府

(B A S E)

生物機能システム科学専攻

博士後期課程 (博士)

学生募集要項 (第 2 次募集)

東 京 農 工 大 学

生物システム応用科学府のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

教育研究の目的、および人材養成の目的をふまえ、生物システム応用科学府は、以下のような人材を求める。

生物システム応用科学分野の学際性、融合性を考慮し、分野や履歴にとらわれず、高度の専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の科学技術の展開に関心を抱き、実践的に行動する意欲を持った学生を、広く国内外から受け入れる。

生物機能システム科学専攻のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

生物機能システム科学専攻は、複雑な生物機能に学ぶことで発想される物質生産及び変換、情報処理及び伝達、環境計測、生体計測、物質循環等に関わる様々なシステムを理解するための学問、学術分野を基盤として、農学と工学に係る幅広い実業界で活躍できる修士人材と、高度な科学的素養と課題解決力を具え、先導的な研究実施能力を有する博士人材の養成を目的とする。

よって、次のような人材を求める。

・生物に学び、その機能を生かした物質、機械、情報、医療・健康、医薬、物質循環等、様々な農工融合の新たなシステムに関心があり、これらの知識や技術の習得を通して、幅広い分野で活躍する意欲のある者。

・特定の分野の知識・技能だけではなく、関連する分野の素養を基礎として、学際的な分野への対応能力を含めた高度な専門的知識や実験・計測技術の習得に関心を持ち、これらの活用により持続可能で安全・安心な社会へ貢献する意欲のある者。

・産業界や国際的ニーズの潮流を理解し、実践的な課題の発見や課題解決に挑戦する意欲をもつ者。

(後期課程)

指導予定教員との連絡について (必須)

出願にあたっては、志望する指導予定教員へ連絡をとり、研究内容及び学力試験日程等の確認を必ず行ってください。

また、合格した場合は、指導予定教員へ連絡し、今後の研究計画等の打ち合わせを必ず行ってください。

生物システム応用科学府 (BASE) 事務室

平成 30 年 4 月入学 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻博士後期課程(博士) 学生募集要項 (第 2 次募集)

本専攻は前期課程(修士)と後期課程(博士)からなり、この募集要項は後期課程(博士)についてのものである。

本学府に関する概要、所属教員の研究内容等については別添案内「東京農工大学大学院生物システム応用科学府」を参照のこと。

1 募集専攻・募集人員等

専攻名	募集人員	備考
生物機能システム科学	若干名	募集人員には、外国人留学生若干名及び社会人特別選抜を含む。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 修士の学位を有する者又は専門職学位を有する者及び入学する月(4月)前までに当該学位を取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月(4月)前までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月(4月)前までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学(以下、「国際連合大学」という。)の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び入学する月(4月)前までに当該学位を取得見込みの者
- (6) 外国の学校、上記(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
 - ① 大学を卒業し、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する月の1日現在24歳に達した者
- 注) 「出願資格 (7)・(8)」により出願する者は、事前審査を行う。 (「出願資格 (7)・(8) の認定について」7 頁参照のこと。)

3 出願期間

平成29年11月1日(水)～11月2日(木)まで。

窓口受付時間は、9時30分～11時30分、13時30分～16時まで。

4 出願手続

一般選抜により受験を希望する者は、「5 一般選抜 (3 頁)」の項を参照し、また社会人特別選抜により受験を希望する者は、「6 社会人特別選抜 (4 頁)」の項を参照し、所定の出願書類等を出願期間中に事務室へ郵送すること。封筒の表に「博士後期課程出願書類在中」と朱書し、書留速達で送付すること。11月2日(木)までに到着したものを受理する。

出願書類提出先及び問い合わせ先

東京農工大学小金井地区学生支援室入試係

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 東京農工大学小金井キャンパス内管理棟 (1 階)

TEL 042 (388) 7014 (直通)

5 一般選抜

一般選抜は、学力検査と書類選考を総合して行う。

身体に障害がある者で受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、小金井地区学生支援室入試係へ申し出ること。

(1) 出願書類等

出 願 書 類		注 意 事 項
A	入 学 志 願 票 (所 定 用 紙)	「志望する指導予定教員」の欄は必ず記入すること。
B	写 真 票 ・ 受 験 票 (所 定 用 紙)	写真票・受験票には、脱帽上半身で志願者本人と判る写真（タテ4 cm×ヨコ3 cm）を貼付すること。
C	修了（見込）証明書	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程修了（見込）証明書を提出すること。ただし、出願資格（7）・（8）に該当する者、本学府博士前期課程に在学中の者は、提出不要。
D	成 績 証 明 書	出身大学院で作成したものを提出すること。ただし、出願資格（7）・（8）に該当する者、本学府博士前期課程に在学中の者は、提出不要。
E	修 士 論 文 の 概 要 (所 定 用 紙)	博士前期課程又は修士課程修了者及び大学院に在学中の者は、修士論文の内容を日本語で2,000字（英語の場合は500words）以内に要約した概要を提出すること。なお、修士論文に関連した別刷又はその写しがある場合は添付すること。ただし、出願資格（7）・（8）に該当する者、本学府博士前期課程に在学中の者は、提出不要。
F	研 究 計 画 書 (所 定 用 紙)	博士後期課程における研究計画を2,000字以内にまとめること。なお、作成に当たっては、必ず志望する指導予定教員に連絡し、確認を得ておくこと。
G	志 望 理 由 書 (所 定 用 紙)	本学研究生（指導教員が本学府の教員である場合に限り）、本学府博士前期課程に在学中の者は、提出不要。
H	住 民 票 の 写 し 等	1) 外国人は、住民票の写し（国籍等在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限り。）又は、パスポートの写しを提出すること。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出すること。
I	入 学 検 定 料	30,000円〔入学検定料払込用紙に志願者の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、支払期限までに郵便局窓口で支払い、「振替払込受付証明書」を入学検定料納付確認票に貼り付けて本学に提出すること。〕 ※本学の学府・研究科から引き続き本課程に進学する者及び入学後の国費外国人留学生の奨学金支給延長が決定している外国人留学生は納入不要。
J	受付用シール及び 連絡受信先シール (所 定 用 紙)	必要事項を記入すること。なお、提出後住所等の変更があった場合は、速やかに連絡すること。

(2) 学力検査

提出された修士論文の概要と研究計画などを参考にして関連する専門分野及び語学の試験を行う。

なお、論文等を外国語で発表している場合には、書類審査の上、語学の試験を行わないことがある。

(3) 学力検査日及び、場所

検査日：平成29年11月20日（月）～ 21日（火）

場 所：東京農工大学小金井キャンパス内

なお、試験会場等の詳細については、別途出願者に通知する。

6. 社会人特別選抜

(1) 趣 旨

近年の生物システム応用科学の目覚ましい進展に伴い、社会の各方面から本学府で対象とする専門分野のエキスパートの養成が強く求められている。このような社会の要請及び専門技術者の再教育の必要性に応えるため、本学府博士後期課程では、社会人を積極的に受け入れ、大学と社会との一層の交流を目指す。

(2) 選抜方法

各種研究機関、教育機関、企業等に1年以上勤務中の者又は最終学校卒業後1年以上職にあった者については、一般選抜とは別に学力検査と書類選考を総合して選抜を行う。

身体に障害がある者で受験上特別な配慮を希望する者は、小金井地区学生支援室入試係へ申し出る。

なお、一般選抜との併願は認めない。

(3) 出願書類等

出 願 書 類		注 意 事 項
A	入 学 志 願 票 (所 定 用 紙)	「志望する指導予定教員」の欄は必ず記入すること。
B	写 真 票 ・ 受 験 票 (所 定 用 紙)	写真票・受験票には、脱帽上半身で志願者本人と判る写真（タテ4 cm×ヨコ3 cm）を貼付すること。
C	修 了 証 明 書	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程修了証明書を提出すること。ただし、出願資格（7）・（8）に該当する者は、提出不要。
D	成 績 証 明 書	出身大学院で作成したものを提出すること。ただし、出願資格（7）・（8）に該当する者は、提出不要。
E	研 究 業 績 一 覧 (所 定 用 紙) 及 び 研究業績等の別刷	研究業績等（学術論文、研究発表・報告、特許等）について記入し提出すること。なお、その研究業績等の別刷又は写し等がある場合にはそれらも併せて提出すること。
F	在職（在籍）証明書 (様 式 随 意)	主な職歴について、所属長等が作成し職務内容及び在職期間が明記された在職（在籍）証明書を提出すること。
G	研 究 計 画 書 (所 定 用 紙)	博士後期課程における研究計画を2,000字以内にまとめること。なお、作成に当たっては、必ず志望する指導予定教員に連絡し、確認を得ておくこと。
H	志 望 理 由 書 (所 定 用 紙)	志望理由を横書きで2,000字以内にまとめること。
I	住 民 票 の 写 し 等	1) 外国人は、住民票の写し（国籍等在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限り。）又は、パスポートの写しを提出すること。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出すること。
J	入 学 検 定 料	30,000円〔入学検定料払込用紙に志願者の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、支払期限までに郵便局窓口で支払い、「振替払込受付証明書」を入学検定料納付確認票に貼り付けて本学に提出すること。〕
K	受付用シール及び 連絡受信先シール (所 定 用 紙)	必要事項を記入すること。なお、提出後住所等の変更があった場合は、速やかに連絡すること。

(4) 学力検査

提出された研究業績、研究計画などを中心に、関連する専門分野についての口述試問を行う。

(5) 学力検査日及び、場所

検査日：平成29年11月20日（月）～ 21日（火）

場 所：東京農工大学小金井キャンパス内

なお、試験会場等の詳細については、別途出願者に通知する。

7 合格者発表

合格者は、平成29年12月11日（月）午前10時、小金井キャンパスBASE本館 1 階掲示板で発表する。

合格者には受験票により確認のうえ合格通知書等を交付する。なお、合格者発表日において合格通知書等を受け取ることができない合格者に対しては、合格通知書等を郵送する。

8 入学手続

(1) 入学手続日時及び場所

平成30年3月15日（木）

13時30分～16時まで。

東京農工大学小金井キャンパス内

(2) 入学に要する費用等

① 入学料……282,000円

② 授業料……年額 535,800円（前期分 267,900円、後期分 267,900円）

ただし、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

(3) 必要書類等

在職のまま入学を希望する者は所属長等の入学承諾書（所定用紙）を提出しなければならない。

（支払った入学費用等は、返却できませんので、ご注意ください。）

また、他の大学院に在学中の者は退学証明書を提出しなければならない。

なお、提出できない場合は入学許可を取り消すことがある。

(4) その他

身体に障害がある者で修学上特別な措置を希望する者は、小金井地区学生支援室入試係へ申し出ること。

9 注意事項

(1) 出願に当たっては、志望する指導予定教員に連絡し、確認を得ておくこと。

(2) 学力検査には必ず、受験票を携帯すること。

(3) 出願手続後における提出書類の内容変更は、認めない。

(4) 本要項及び大学からの指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合がある。

(5) 入学試験に関する照会は、2 頁に記載の出願書類提出先とする。

(6) これ以外の試験に関する注意事項は、出願時に配布する。

(7) 納入した検定料は、いかなる理由があっても払い戻さない。

(8) 本試験に関する変更等が生じた場合は、直ちに志願者に通知する。

10 教育研究分野教員一覧

教育研究分野名	教 員 名
物 質 機 能 設 計	教 授 荻 野 賢 司
	准教授 Wuled Lenggoro
物 質 機 能 応 用	教 授 銭 衛 華
	准教授 稲 澤 晋
物 質 機 能 分 析	教 授 中 田 宗 隆
	准教授 橋 本 洋 平
生体医用フォトニクス	教 授 岩 井 俊 昭
	准教授 西 舘 泉
生体モデル知覚システム	教 授 齋 藤 隆 文
	准教授 田 中 雄 一
環 境 機 械 シ ス テ ム	教 授 石 田 寛
	准教授 池 上 貴 志
生体・環境応用システム	准教授 上 田 祐 樹
資 源 生 物 創 製 科 学	教 授 梶 田 真 也
	准教授 鈴 木 丈 詞
物質エネルギーシステム	教 授 神 谷 秀 博
物質エネルギー設計	准教授 富 永 洋 一
エネルギーシステム解析	教 授 秋 澤 淳
生物情報計測システム	准教授 梶 田 晃 司
食 料 安 全 科 学	教 授 佐 藤 令 一
生 物 応 答 制 御 科 学	准教授 梅 澤 泰 史
生態系型環境システム	教 授 豊 田 剛 己
環境モニタリングシステム	准教授 赤 井 伸 行

出願資格（7）・（8）の認定について

出願資格の認定とは、本学府への出願資格の有無を判定するためのものであり、下記のとおり実施する。

1. 申請書類受付日時

受 付 日……平成29年10月10日（火）～10月11日（水）

受付時間……9時30分～11時30分、13時30分～16時まで。

受付場所……小金井キャンパス管理棟（1階）小金井地区学生支援室入試係

なお、やむを得ず郵送する場合は、必ず封筒の表に「博士後期課程出願資格認定書類在中」と朱書し、書留速達で送付すること。10月11日（水）までに到着したものを受理する。

2. 提出書類等

ア) 出願資格認定申請書（所定用紙）

イ) 卒業証明書（出身大学等最終学校長が作成したもの）

ウ) 成績証明書（出身大学等最終学校長が作成し厳封したもの）

但し、卒業後10年以上を経過した者については、提出する必要はない。

エ) 4頁に掲げる出願書類のうち、E、F、Hを提出すること。

3. 認定審査

本学府において、提出書類及び面接等により認定審査を行う。

4. 認定結果

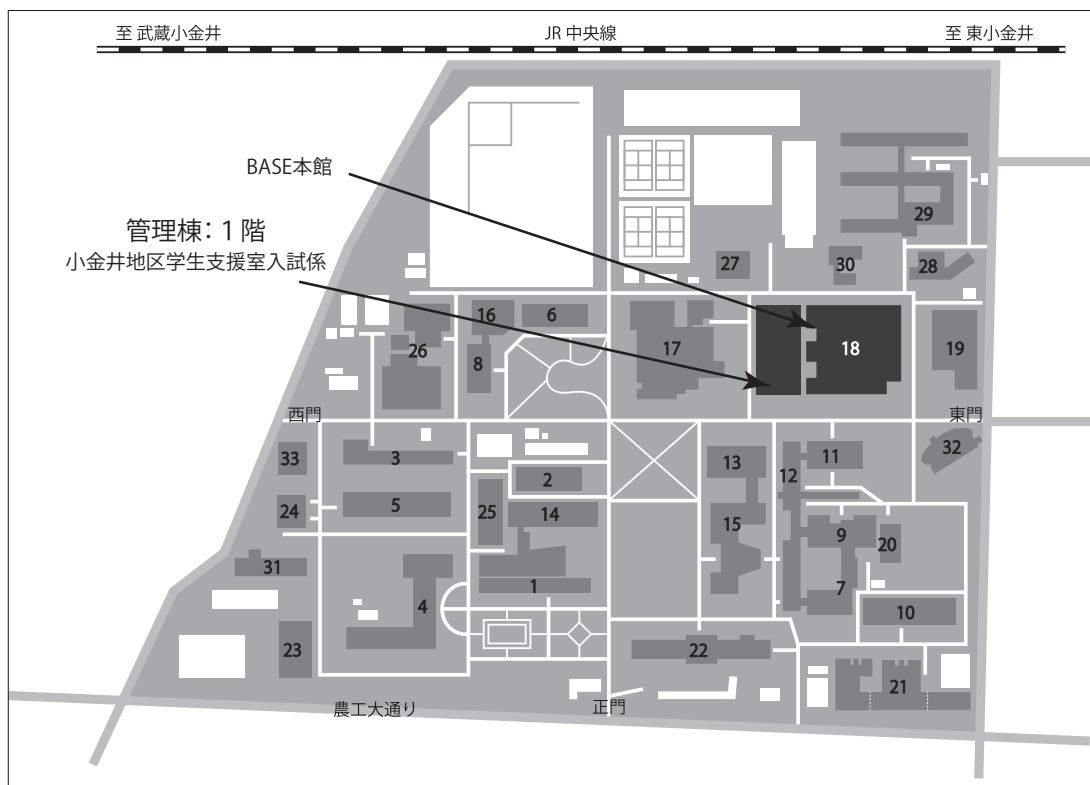
平成29年10月20日（金）午前10時に、小金井キャンパスBASE本館1階掲示板で発表する。

5. 出願手続

出願資格の認定を受けた者は、一般志願者と同様に出願手続を行うこと。

11 所在地

東京農工大学小金井キャンパス案内図



1 1号館(応用分子化学科・有機材料化学科・化学システム工学科)	10 10号館(生命工学科・応用分子化学科・情報工学科)	18 BASE本館(大学院生物システム応用科学府(BASE))	28 小金井国際交流会館
2 2号館(機械システム工学科)	11 11号館(生命工学科・機械システム工学科)	19 工学部総合会館	29 柳寮(男子寮)
3 3号館(電気電子工学科)	12 12号館(生命工学科・有機材料化学科・機械システム工学科・情報工学科)	20 CAD/CAM実習施設	30 桜寮(女子寮)
4 4号館(有機材料化学科・化学システム工学科・物理システム工学科・産業技術専攻)	13 13号館(国際センター)	21 先端産学連携研究推進センター(VBL棟・共同研究施設・インキュベーション施設)	31 小金井第2宿舍(職員宿舎)
5 5号館(化学システム工学科・電気電子工学科・機器分析センター)	14 新1号館(応用分子化学科・電気電子工学科)	22 科学博物館	32 140周年記念会館(エリプス)
6 6号館(機械システム工学科)	15 工学部講義棟	23 先端科学実験棟	33 次世代キャバinta研究センター
7 7号館(情報工学科)	16 中央棟(産業技術専攻・工学部事務部)	24 環境管理施設	
8 8号館(総合情報メディアセンター)	17 小金井図書館	25 ものづくり創造工学センター	
9 9号館(機械システム工学科)		26 体育館・武道場	
		27 工学部実験研究棟	



◎交通機関

J R 中央線 東小金井駅 (新宿から約25分) 南口から徒歩約 8 分
武蔵小金井駅 (立川から約13分) 南口から徒歩約13分

〒184-8588 東京都小金井市中町 2 丁目24-16 ☎ (042) 388-7014 (直通)
小金井地区学生支援室入試係

受験志願者 各位

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府

提供いただいた情報の利用について

受験出願に際し提供いただいた個人情報、本学のプライバシーポリシー（平成17年8月公表 URL: <http://www.tuat.ac.jp/>）に規定する利用目的に沿って利用するものであり、その利用目的以外の目的に利用することはありません。

平成 30 年 4 月入学 東京農工大学大学院
生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士後期課程）（第 2 次募集）

入 学 志 願 票

選 抜 区 分	一 般 選 抜 社会人特別選抜 (該 当 事 項 を ○ で 囲 む こ と。)		受 験 番 号 ※	
ふ り が な 氏 名 生 年 月 日	(昭和・平成) 年 月 日 生 (歳)		性 別	男 ・ 女
教育研究分野名		志 望 す る 指 導 予 定 教 員		
出 身 大 学	大学 学部 学科 年 月 卒 業			
	大学大学院 研究科 (修士・博士前期) 学 府 専 攻 年 月 修了・修了見込			
勤 務 先 及 び 職 業	会社名 役職名 〒 TEL			
現 住 所	〒 TEL			
合 格 通 知 等 受 取 場 所	〒 TEL			
履 歴 書				
学 歴 高等学校卒業から記入 して下さい。なお、大学 等で研究生として在学歴 がある場合は、その期間 も記入して下さい。	年 月	事 項		
職 歴				
備 考 資格、賞罰等がある場 合は記入して下さい。				

平成30年4月入学 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻 (博士後期課程) (第2次募集)		
写 真 票		
写 真 欄 写真は脱帽上半身 4cm×3cm		
受験番号	※	
分教育研究 野 究		
教指導予 員 定		
ふりがな		
氏 名		
生 年 月 日	(昭和・平成)	年 月 日生
注) 1 ※印欄は記入しないで下さい。		

平成30年4月入学 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻 (博士後期課程) (第2次募集)		
受 験 票		
写 真 欄 写真は脱帽上半身 4cm×3cm		
受験番号	※	
分教育研究 野 究		
教指導予 員 定		
ふりがな		
氏 名		
生 年 月 日	(昭和・平成)	年 月 日生
注) 1 ※印欄は記入しないで下さい。 2 学力検査の際は必ず本票を机上におくこと。 3 受験票は大切に保管しておくこと。		

修 士 論 文 の 概 要

受 験 番 号	※	教育研究 分 野		氏 名	
修 士 論 文 題 目					
修 士 論 文 の 概 要					

注) 修士論文の内容を具体的、かつ簡明に記入すること。なお、必要に応じては図、表、式等を用いても良い。
※印は、記入しないこと。

研 究 業 績 一 覧

受 験 番 号	※	教育研究 分 野		氏 名	
学術論文、研究発表・報告、特許等の名称			発 行 又 は 発表の年月日	発 行 所 、 発 表 雑 誌 等 又 は 発 表 学 会 等 の 名 称	備考(共著者名又は 共 同 発 表 者 名)

注) 年代順に記載のこと。また、学術論文等は、別刷又は写を添付すること。
※印は、記入しないこと。

研 究 計 画 書

受 験 番 号	※	教育研究 分 野		氏 名	
研 究（希 望）題 目					
研 究（希 望）計 画 の 概 要					

注) ※印は、記入しないこと。

受 験 番 号
※

志 望 理 由 書

東京農工大学大学院生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士後期課程）の入学志望者、私は下記により志望します。

平成 年 月 日

所属・職名等

氏 名

◎ 志望理由、過去の研究歴や職務内容と博士後期課程において希望する研究内容との関係等について 2,000 字以内で記入してください。

注) ※印は、記入しないこと。

平成30年4月入学 東京農工大学大学院
生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士後期課程）（第2次募集）

入学試験出願資格認定申請書

ふりがな氏名	⑨	現職	
生年月日（年齢）	（昭和・平成） 年 月 日（ 歳）	現住所	〒 TEL - -
学歴			
年 月 日	事 項		
職歴（研究・開発等の業務内容を詳しく記入して下さい。）			
年 月 日	事 項		
学会及び社会における活動状況			
年 月 日	事 項		

入 学 承 諾 書

氏 名

このたび、上記の者が在職のまま貴大学大学院生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士後期課程）に入学することを承諾します。

平成 年 月 日

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府長 殿

住 所

所属機関

所 属 長

印

入学検定料納付確認票

受験番号	※
------	---

「振替払込受付証明書」を
貼り付けてください。

(注意)

1. 郵便局・ゆうちょ銀行の受付
日附印がないものは無効です。
2. 振替払込受付証明書の所定欄
に志願者住所・氏名を必ず記
入してください。
3. 振替払込請求書兼受領証は大
切に保管し、ここに添付して
はいけません。
4. 納入された入学検定料は原則
返還しません。

※印欄は記入しないでください。

- ・本払込用紙に、志願者（ご依頼人）の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、支払期限までに郵便局・ゆうちょ銀行窓口でお支払いください。
- ・右端の「振替払込受付証明書」を、入学検定料納付確認票に貼り付けて提出してください。（受付局日附印のないものは無効）
- ・「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。改めて本学から受領証書は発行いたしませんので、大切に保管してください。

票 扱 取 込 払

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出してください

記載事項を訂正した場合はその箇所に訂正印を押してください

切り取らないでお出ください

(私製承認東京貯金事務センター第1232号)

① 入学検定料は、必ずこの払込用紙を使用して郵便局・ゆうちょ銀行で払い込んでください。

② 払込の際に日附印を押印した「振替払込受付証明書」を受け取り、入学検定料納付確認票の指定欄に貼り付けて提出してください。

(注意)

入学者住所、氏名欄に記入漏れがないか、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が漏れていないか、確認の上提出してください。

(記入漏れ、日附印のないものは無効となります。)

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。

・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収 入 印 紙
3 万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

〔平成30年 4 月入学（博士後期課程）（第 2 次募集）〕

- ① ※印欄は記入しないでください。
- ② このシールは、台紙にのり付けされたままの状態で提出してください。
- ③ 教育研究分野、指導予定教員は、6 頁を参照してください。

受 付 用 シ ー ル

氏 名	性別	出身大学 出身大学院	グループ	教育研究分野名	指導予定教員	学籍番号 (本学卒業 見込み者)	検定料 の有無	備 考
ふりがな	男・女	(大学)	※				有・無	※
		年 月卒業						
(昭和・平成) 年 月 日生		(大学院) 年 月修了・修了見込・在学中						

連 絡 受 信 先 シ ー ル

このシールは、「入学手続き類」、その他連絡事項を送付する場合の宛名として使用します。

郵便番号

〒 ー

住 所

氏 名

_____ 殿
(※)

〒 ー

_____ 殿
(※)

〒 ー

_____ 殿
(※)

〒 ー

_____ 殿
(※)